

日本光学会平成12年度第1回常任幹事会議事録

日 時：平成12(2000)年7月6日(木)

13:34~18:15

場 所：日本光学会資料室

出席者：岩田幹事長，以下15名

議 事：

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録に関する質問等はなく，議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会報告

(1)「光学」編集委員会報告

- ・4,5号の「光学」の出版が大幅に遅れたが，今後は順調に出版される予定。
- ・「光学」の査読者2名制を9月から実施する。
- ・今年末から，最新の話題や光学の会員に重要な内容といったものを，1号2件程度掲載していく。

(2)「OR」編集委員会報告

- ・投稿数は昨年と同じペースできている。また，海外(アジア)からの投稿が増えている。
- ・オプティカルトモグラフィの特集号をVol. 7, No. 5で発行する。論文数は一般も含めて19件。

2-2. 講演会関連報告

(1) ICOSN 2001 進捗報告

- ・第1回の実行委員会を開催し，企画会社への業務委託内容の検討等を行った。
- ・併設展示会，SPIEとの取り決め，サテライトの企画，各委員の仕事についての説明が行われた。

(2) 光学シンポジウム結果報告

- ・講演数は，31件(招待5件，一般26件)，講演会参加者は268名で，盛況のうちに終了した。
- ・募集開始時期を早め，ホームページ等による広報活動を積極的に行った結果，応募が増大した。
- ・電子メールによる投稿を推奨することで，受付後の処理等が迅速に行え，有効であった。
- ・評価・計測の分野でポスターセッションを実施したが，おおむね好評であった。
- ・アンケートを実施した結果，出席者の専門は“光学設計”が多く，所属機関も約9割が民間企業であった。シンポジウムのテーマとしては，現状維持か，より広くするとの意見が大半を占めた。

(3) Optics Japan 2000 進捗報告

- ・7月5日にプログラム委員会をつくばで開催し，プログラムを編成した。投稿数は175件であった。
- ・電子メールとWebによる申し込み受け付けを行ったが，Webが約70%を占めた。
- ・募集したシンポジウムは6件であったが，環境光学のシンポジウムは投稿数が少なかったため，成立しなかった。投稿論文は一般講演の口頭発表とした。
- ・シンポジウムを含め口頭発表が85件，ポスター発表が90件となった。
- ・セキュリティのシンポジウムにおいて，キーノート講演を1件加えた。
- ・プログラムは実行委員で再度確認した後，印刷所へまわし(25日締切)，第29巻第8号の「光学」に掲載する。また，交通手段，宿泊に関する情報も掲載する予定。

(4) 関西支部連合講演会進捗報告

- ・第33回光学五学会関西支部連合講演会が5月26日に大阪で開催された。参加者は37名であった。

(5) サマーセミナー進捗報告

- ・5月22日に講師の方々に講演依頼状とプログラム等の案内を発送し，7月5日に当日の予定等の照会を電子メールで行った。
- ・各学会に協賛依頼をしたが，各学会誌に掲載してもらうには，少し時期が遅かった。
- ・ポスターは7月上旬に完成予定。完成次第，応物学会のほうから，各幹事宛に郵送するので，関係箇所への掲示等で協力をお願いしたい。また，過去の参加者関係へも発送する予定にしている。
- ・これまでに3名の参加申し込みがあった(7月6日時点)。これは，光学シンポジウムでの宣伝の結果と考えている。

(6) 冬期講習会進捗状況

- ・実行委員8名が決定した。テーマは，フォトニック結晶と極微周期構造の光学とした。
- ・内容，講師については，今後詰めていく。
- ・会場は，東大生研(六本木)。時期は，2000年1月22, 23日か15, 16日で行う。

2-3. その他報告事項

(1) 日本光学会奨励賞選考結果

- ・6月28日に最終選考委員会を開催し，1名を選考した。
- ・選考委員会にて，奨励賞の趣旨や選考方法等に問題や疑

問が上がり、今後検討が必要となった。

(2) 光学論文賞審査委員について

- ・阿山みよし、山本公明、羽根一博、小野雄三、波多腰玄一の5氏に審査委員を依頼した。

(3) 協賛依頼

- ・1件の協賛依頼（日本写真学会サマーセミナー2000）があった。

(4) 会員動静

- ・6月の会員動静は、A、B、特別会員ともに微増した。会員動静の推移を1997年からの部分でグラフ化した。ほぼ横這いの微増傾向であった。

3. 審議事項

(1) 予算案

- ・準備不足のため、まとめ次第、幹事にメールで送付する。承認は次回以降の幹事会。
- ・50周年記念事業分の予算措置をとり、特別会計で管理する。

(2) 50周年記念事業

- ・日本光学会50周年記念事業のとりまとめを伊藤雅英（筑波大学）が行う。
- ・「光学」日本光学会50周年記念号の特別編集委員会が発足した。委員構成は伊藤委員長、志村副委員長、岩田、大坪、堀、岩井、高木、羽石、岡田、本宮、戸丸、南波、計12名。
- ・記念付録（CD-ROMまたはDVD-ROM）編集を「光学」編集局に依頼するための予算措置が申請され、承認された。予算措置は、2000、2001年度の2年間でCDの編集および制作費にあてる。「光学」本体は通常の契約の中で発刊される。
- ・この予算は、上記事業の特別会計の一部として計上される。
- ・「光学」の記念事業等において、広告収入が発生した場合は、特別会計に組み込まれることが確認された。
- ・「光学」の記念事業等において、2001年度のOptics Japanで50周年記念講演を行った場合、その講演内容が「光学」にも掲載されるので、Optics Japan自体の予算も50周年記念事業特別予算に組み込むことを検討する。そのためにも2001年度のOptics Japanの企画を早急に決定する。
- ・50周年記念を含め、今後、海外からも講演者を呼べるように、方法（招待の形式、回数等）、ならびに予算措置（旅費、宿泊費）を国際協力ならびに会計幹事を中心に検討する。

(3) 次期幹事選出方針

- ・次期幹事の選出を例年通りの方針で行うことが説明され、承認された。

- ・信越地区幹事が今年度で交代となるが、来年度留任の中部地区幹事（藤原）が本年4月から信越地区（長岡科学技術大学）へ移られたため、次期幹事としては中部地区の幹事を選出する。

- ・各研究グループからの幹事の推薦を依頼し、希望があれば実現の方向で検討する。

- ・任期満了の企業の幹事には幹事推薦依頼状を送付し、次期幹事を推薦してもらう。また、現在幹事を出していない企業に対しても、依頼状を送付し、できるだけ広い範囲から幹事を選出する。

(4) 資料室利用規定

- ・資料室利用規定（案）ならびに利用細則（案）が説明され、承認された。施行日は平成12年7月6日。
- ・資料室の案内、ならびに利用規定等をホームページおよび「光学」に掲載し、利用を促進する。

(5) 応用物理学会理事候補推薦ならびに代議員推薦

- ・応用物理学会次期理事候補推薦依頼についての説明があった。これまでも日本光学会として理事を推薦していないので、特に推薦したい人がいなければ、例年通り推薦なしとする。
- ・応用物理学会代議員推薦依頼についての説明があった。特に推薦（自薦）がなければ、幹事長一任で計2名の会員の方を推薦する。

(6) 会員増強について

- ・会員増強のため、応用物理学会と日本光学会の両方に加入している会員（B会員）の年会費を安くすることが提案された。特に学生会員については、現会員数も少ないため、年会費収入の減額よりも、会員数増の効果がほうが期待できる。今後、いくつかのモデルで会費収入の概算を計算した結果（会計幹事）を元に再度検討する。

(7) 会議登録のweb化

- ・日本光学会主催の講演会、シンポジウム等の登録等をWeb化し毎回同一のシステムで実行することで、各実行委員の負担を軽減させていくことを検討しているが、現在のNACSISのシステムでは実現できず、外部委託の場合は維持費用が増大する。日本光学会のWebが今年度末から来年度にかけて、応用物理学会のシステムに移行する時点で、表記の目的が達成できるシステムが構築できるように応用物理学会側と議論を進め交渉していく。

(8) 国立情報科学研究所電子図書館サービスについて

- ・国立情報科学研究所（前学術情報センター）電子図書館

サービスへの Optical Review の参加依頼についての説明があり、参加の方向で進めることが承認された。また、応用物理学会の予稿集も登録されているため、Optics Japan, 光学シンポジウムの予稿集も登録する方向で検討する。

- 登録されることで、会員は全文にアクセス可能になる。また、非会員がアクセスした場合、使用料が光学会に入る。

(9) 幹事英文名簿作成

SPIE から名簿の更新のため、現幹事の英文名、所属等の情報を提供してほしい旨の要請がきていることが説明され、提供することが承認された。

(10) 光波シンセシス研究グループ設立について

- 光波シンセシス研究グループ設立趣意について、尾松孝茂（発起人世話人）から説明があり、設立が承認された。
- 光波シンセシス研究グループ設立に伴い、位相共役・光波ミキシンググループは、しばらく（1年程度）継続した後、光波シンセシス研究グループに統合もしくは、発展的解散となる予定。
- 年度途中の設立であるため、今年度における予算措置は行わない。

(11) 特定欧文誌科研費申請の勉強会参加について

応用物理学会からの特定欧文誌科研費申請の勉強会参加依頼についての説明があり、会計幹事（埜田）に参加していただくことになった。

(12) 講演会における必要物品の購入について

光学会として保有、管理すべき講演会必要物品についての提案があった。提案されたうち、ベル、指示棒、名札についてはすでに学会の管理物品として保有しているため、不足する場合には追加購入する。また、レーザーポインターについては、購入/管理の方向で見積もりをとり検討する。

(13) 日本光学会奨励賞について

奨励賞の選考委員会で話題となった、奨励賞の趣旨や選考方法等の問題点や疑問点について、次年度の選考委員会までに次期選考委員長（Optical Review 編集委員長）を中心に検討する。また、Optics Japan の実行委員会で話題にあがった、Optics Japan における講演奨励賞（応用物理学会における講演奨励賞に対応）も考慮して、日本光学会としての賞を再検討する。

(14) 平成 12 年度の日本光学会奨励賞受賞者への渡航旅費補助について

本年度の奨励賞受賞者が現在、海外留学中であり、Optics Japan 2000 での受賞講演を実現するには、渡航

旅費の補助が必要になるとの意見が報告されたが、規定がないこと、また Optics Japan 2000 での学会内招待講演者にも旅費が支払われないことから、特別措置は取らないこととし、できるだけ自発的に参加してもらえようように依頼する。

次回幹事会は、9月13日（水）13:30～ 応物会議室

第 161 回幹事会

2000年9月13日（水）に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」、「OR」の編集委員会報告、ICOSN 2001, 光学シンポジウム, サマーセミナー, Optics Japan 2000, 関西支部連合講演会, カラーフォーラム, 冬期講習会等の講演会関連の報告および審議, 2001年度予算案, 平成13年度幹事推薦者, 会員増強について, 「OR」編集業務委託先変更等について報告, 審議がなされました。なお, 詳しい幹事会議事録は第30巻第1号に掲載予定です。

第 193 回「光学」編集委員会

2000年9月11日（月）, (財)日本学会事務センター会議室において開催されました。第30巻第4号～5号企画, 30巻6号～9号構想案について審議が行われました。また査読者2人制, 日本光学会50周年記念号, 「光学」記事のWWW掲載, 解説記事の英文アブストラクト, 特集外解説記事, 来年度委員の交代等について審議がなされました。そのほか, 各号進捗状況, 論文投稿・審査状況, 会計等について報告がなされました。

平成 12 年度第 3 回ホログラフィック・ディスプレイ研究会

日 時：平成 12 年 11 月 30 日（木）14:00～17:00

場 所：立命館大学 BKC（びわこ・くさつキャンパス）
コアステーション 3 階第 3 会議室（草津市野路東 1-1-1）

JR 琵琶湖線（東海道本線）「南草津」下車（京都から 20 分, 大阪から 50 分）, 近江鉄道バス「立命館大学」行きまたは「立命館大学経由飛鳥グリーンヒル」行きに乗車（10 分）

テーマ：回折光学素子と超微細周期構造の作成

プログラム：

1. フォトポリマーを用いた 3 次元超微細加工：3 次元フォトニック結晶の干渉形成と分岐ファイバーの自立形成

河田 聡, 庄司 暁（大阪大）

2. 微細周期構造をもつ回折光学素子とその作成技術 (大阪府地域結集型共同研究事業における光学素子開発の紹介)

菊田久雄 (大阪府立大)

3. CGH のカメラ焦点板への応用

大森滋人 (大阪科学技術センター)

4. 複屈折回折光学素子による偏光変換光学系

石原 淳 (ミノルタ (株))

見 学：立命館大学 SR センター (シンクロトロン放射光研究施設)

参加申込み：当日受付 (なお、見学等の予定をたてるため、できるだけ E-mail で事前連絡ください)

E-mail: onoy-report@se.ritsumei.ac.jp

Subject として、半角大文字で HODIC として送付ください (事前連絡なく参加されても何ら問題ありません)。

参加費： 会員 無料, 非会員 2,000 円

問合わせ先：立命館大学理工学部光工学科 小野雄三

〒525-8577 草津市野路東 1-1-1

電話 077-561-4970 Fax 077-561-2663

E-mail: onoy@se.ritsumei.ac.jp

野田 進 (京大)

7) 高出力青紫色 GaN レーザー

松下俊雄 (日亜化学)

8) 紫外発光素子用ダイヤモンド

堀内賢治 (東京ガス)

9) 高出力ポリマー光ファイバーレーザー・増幅器

小池康博 (慶応義塾大)

10) 短パルス超高強度レーザーと高強光場科学

阪部周二 (大阪大)

参加費： 一般 4,000 円 学生 1,000 円 (資料代を含む) 当日ご持参ください。

参加申込み： 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先： (株) 富士通研究所基盤技術研究所光半導体研究部 小路 元

電話 046-250-8250 Fax 046-248-5193

E-mail: hshoji@flab.fujitsu.co.jp

大阪大学工学部電子工学科 栖原敏明

電話 06-6879-7771 Fax 06-6879-7793

E-mail: suhara@ele.eng.osaka-u.ac.jp

プログラムは、微小光学研究グループのホームページ (<http://www.din.or.jp/microopt/>) でもご覧いただけます。

第 78 回微小光学研究会

テーマ：「21 世紀をひらくレーザー技術」

日 時： 2000 年 12 月 1 日 (金) 10:30~16:30

場 所： 大阪大学コンベンションセンター第一会議室 (吹田市山田丘 1 番 1 号)

交 通： 地下鉄御堂筋線千里中央駅発、阪急バス「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」乗車、阪大本部前下車

主 催： 日本光学会 (応用物理学会) 微小光学研究グループ

プログラム：

- 1) 温度無依存波長レーザー用タリウム系新混晶半導体
朝日 一 (大阪大)
- 2) AlInAs 選択酸化膜電流狭窄型 ASM-BH レーザー
高 賢哲 (NEC)
- 3) 実屈折率導波型モノリシック 2 波長レーザー
油利正昭 (松下電子工業)
- 4) [特別講演]21 世紀の半導体レーザー
伊賀健一 (東京工業大)
- 5) WDM 用波長選択レーザー
小滝裕二 (富士通研)
- 6) フォトニック結晶レーザー

第 93 回光コンピューティング研究会

主 催： 日本光学会 (応用物理学会) 光コンピューティング研究グループ

日 時： 2000 年 12 月 5 日 (火) 13:00~18:00

会 場： NTT 厚木研究開発センタプレゼンテーションルーム

テーマ： 次世代光通信とデバイス (光技術の実用化)

プログラム：

- 1) WDM 用 InP 系光デバイスの研究開発動向
東盛裕一 (NTT フォトニクス研究所)
- 2) 面発光レーザーの研究開発動向
天野主税 (NTT フォトニクス研究所)
- 3) コヒーレント超短光パルス CDMA 通信
八嶋弘幸 (埼玉大)
- 4) CDMA 光通信
和田尚也 (郵政省通信総合研究所)
- 5) ペタメディアネットワークデモシステム見学
- 6) 懇親会

参加費： 一般 3,000 円, 会員 2,000 円, 学生 1,000 円

会場までの交通： 小田急愛甲石田駅または本厚木駅よりバス 20 分 (森の里青山行乗車, 通信研究所前下車)

<http://www.phlab.ecl.ntt.co.jp/location/atu.html>

問合せ先： NTT フォトニクス研究所 中原達志
電話 046-240-3247 E-mail: nak@aecl.ntt.co.jp
浜松フォトニクス 小林祐二
電話 053-586-7111
E-mail: kobayasi@crl.hpk.co.jp

平成 12 年度日本光学会名古屋講演会

主催： 日本光学会（応用物理学会）
日時： 平成 12 年 12 月 11 日（月） 14：00～17：00
会場： 岡崎国立共同研究機構コンファレンスセンター
会議室（岡崎市明大寺町字西郷中 38，電話 0564-55-7136）

テーマ： 中部フォトニクスにおける最近の話題
講演プログラム：

- 1) 負性非線形吸収効果を用いた光オペアンプと全光論理演算
前田佳伸（豊田工業大）
- 2) 有機非線形高分子の微細加工と光回路デバイスへの応用
杉原興浩（静岡大）
- 3) ガラス中局在 4f 電子系の光機能性
早川知克（名古屋工業大）
- 4) ウレタン系アゾポリマーの光応答特性 — 光誘起配向から近接場光によるナノ構造形成まで —
渡辺 修（豊田中央研）

参加費： 無料

参加申込み： 準備の都合上，氏名，所属，連絡先を事前に下記までご連絡ください。

申込み・問合せ先：長岡技術科学大学化学系 藤原 巧
〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1
電話 0258-47-9311 Fax 0258-47-9300
E-mail: fujiwara@chem.nagaokaut.ac.jp

会場の位置，交通手段などの案内：

<http://www.ims.ac.jp/location/indexj.html>

日本光学会平成 12 年度関西講演会

テーマ： 次世代光ディスク技術
日時： 平成 12 年 12 月 18 日（月） 14：00～16：30
場所： 大阪大学コンベンションセンター会議室 2（吹田市山田丘大阪大学吹田キャンパス構内）
交通機関：

- ・大阪モノレール阪大病院前駅（終点）から西へ徒歩約 10 分
- ・阪急電車千里線北千里駅（終点）から東へ徒歩約

20 分

・地下鉄・北大阪急行千里中央駅（終点）から阪急バス「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」乗車，阪大本部前下車徒歩 3 分

・阪急電車京都線茨木市駅・JR 東海道線茨木駅から近鉄バス「阪大本部前行」乗車，阪大本部前下車徒歩 3 分

主催： 日本光学会（応用物理学会），応用光学懇談会
プログラム：

- 1) 表面プラズモン励起・光散乱型スーパーレンズ
藤 寛（シャープ（株）基盤技術研）
- 2) フェムト秒レーザによる光誘起構造の形成と応用
三露常男（松下電器産業（株）），平尾一之（京都大）

参加費： 無料

申込み方法： 氏名，所属，連絡先（住所，電話番号，Fax，E-mail）を明記の上，E-mail または Fax にて下記へお申し込みください（葉書による申し込みも可）（申し込み順）。

参加申込み締切： 平成 12 年 12 月 8 日（金）（定員 120 名）
申込み・問合せ先： 松下電器産業（株）光ディスク開発センター 塩野照弘
〒570-8501 守口市八雲中町 3-1-1
E-mail: shiono@drl.mei.co.jp
電話 06-6906-0267 Fax 06-6906-4096

第 27 回冬期講習会

日本光学会主催の掲記講習会を，「フォトニック結晶と極微周期構造の光学」のテーマで 2001 年 1 月 15 日（月）～16 日（火）に東京大学生産技術研究所（東京都港区六本木）において開催いたします。

詳細については本誌の綴じ込み案内，または日本光学会ホームページ（<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/osj-ap/>）の講習会案内をご覧ください。

第 26 回光学シンポジウム（光学技術・学術講演会）

講演募集

主催： 日本光学会（応用物理学会）
期 日： 2001 年 6 月 21 日（木），22 日（金）
場 所（交渉中）： 工学院大学 3 階ホール（東京都新宿区西新宿 1-24-2）

テーマ： 「光システムおよび光素子の設計，製作，評価を中心として」

募集内容： 光システムおよび光素子の設計，製作，評価

に関連した講演を中心として、日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に、これに関連した実際的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し、また、問題提起の講演も認めます。

講演方法： 口頭講演およびポスターセッション。プログラム編成上の都合により、あらかじめ連絡の上、講演方法を変更していただく場合があります。

応募方法： 以下の内容を電子メール（郵送、Fax も可）にてお送りください。

題目、氏名（登壇者には○を付ける）、所属機関名、英文題目、英文氏名、所属機関英文名、概要（200字以内）、連絡先（郵便番号、住所、氏名、E-mail、電話、Fax）、口頭講演/ポスターの別、OHP/ビデオプロジェクター使用の有無

応募先： E-mail: optics@rel.crl.fujixerox.co.jp

富士ゼロックス(株)ニュービジネスセンター環境システム開発部 山田秀則

〒259-0157 神奈川県足柄上郡中井町境 430 グリーンテクナカイ

電話 0465-80-2382 Fax 0465-81-8982

応募締切： 2001年3月2日（金） 必着

予稿： オフセット原稿またはPDF形式の電子ファイル（図・表を含めて2枚もしくは4枚、本文のみ2段組）。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方をご参照ください。

予稿締切： 2001年4月27日（金） 必着

問合せ先： 上記の応募先をお願いします。

レーザー顕微鏡研究会第26回講演会

日時： 2000年11月15日（水） 10:00~17:00（予定（講演件数により14日、15日開催の場合あり））

場所： 東京農工大工学部11号館多目的会議室（小金井市中町2-24-16）

シンポジウム： 限界に挑む顕微鏡観察

一般講演： レーザー顕微鏡の基礎・理論、装置関係、バイオテクノロジー

参加費： レーザー顕微鏡研究会会員 無料、非会員 2000円

事前申込み： 不要

問合せ先： 生物計測研究所 市原 昭

電話 090-9684-6445

E-mail: ichihara@pp.ij4u.or.jp

文部省科学研究費特定領域研究(B)「ナノ構造創成のための光メカトロニクス」平成12年度公開シンポジウム

東北大学ベンチャービジネスラボラトリー第18回「マイクロ・ナノマシニング」セミナー、「最新の近接場技術とマイクロ・ナノマシニング」合同講演会

期日： 平成12年11月24日（金）

場所： 東北大学工学部青葉記念会館大研修室（4F 401室）（工学部青葉山キャンパス）（〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉、電話 022-217-7993）

JR 仙台駅からタクシーで15分またはバス（西口バスプール9番より乗車：工学部経由青葉城址循環、工学部経由宮城教育大学などで工学部前下車）

スケジュール：

13:00~13:10 「イントロ」

羽根一博（東北大）

13:10~14:00 「近接場と非線形が拓く新世紀ナノフォトリクス」

河田 聡（大阪大）

14:00~14:50 「ナノメカトロニクス」

川勝英樹（東京大）

14:50~15:05 休憩

15:05~15:55 「ナノエンジニアリングを目指す超微細プローブ」

小野崇人（東北大）

15:55~16:45 「光マイクロメカトロニクスのための立体的マイクロマシニング」

佐々木実、羽根一博（東北大）

16:45~17:00 「ディスカッションとコメント」

17:20~ VBL セミナー懇親会（場所：VBL 展示室）

問合せ先：

東北大学大学院工学研究科機械電子工学専攻

羽根一博

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 01

電話 022-217-6962 Fax 022-217-6963

E-mail: hane@hane.mech.tohoku.ac.jp

参加申込み先：

VBL 事務室 中西一郎

電話 022-217-6256 または 6258 Fax 022-217-6259

E-mail: nakanishi@cc.mech.tohoku.ac.jp

第10回光インターコネクト情報処理研究会

特集セミナー： 「IT革命を支える光ネットワーク技術」

現在急速に進展しているIT革命において、高速かつ大

容量の通信・コンピューターシステムを支える光ネットワーク技術が重要なインフラストラクチャーとなります。本セミナーでは「IT革命を支える光ネットワーク技術」をテーマに、技術動向のみならず標準化の動向、市場動向を含めて、先端的な研究開発を進めている専門家の先生方に、わかりやすく紹介していただきます。

日 時：平成12年11月27日(月) 13:00~17:00

会 場：機械振興会館地下3階第2研修室(港区芝公園3-5-8, 電話 03-3434-8216)

営団日比谷線神谷町駅下車(徒歩8分), 都営三田線御成門駅下車(徒歩10分), 都営浅草線大門駅下車(徒歩10分)

<http://www.ieice.org/jpn/about/syozai.html> 参照

主 催：電子情報通信学会光インターコネクト情報処理研究委員会

協 賛：日本光学会(応用物理学会)光コンピューティング研究グループ, 光産業技術振興協会(依頼中)

参加費(予稿集代金含む)：一般 6,000円, 学生 3,000円(会場にて徴収)

プログラム：

1. フォトニックネットワーク標準化動向
「ITU及びIECにおける標準化動向からオプティカルトランスポートネットワーク(OTN)の将来を予測する」
富沢将人(NTT未来ねっと研究所)
2. データコム分野の光インタコネクション標準化動向
「テラビットルータと広帯域LANを構成する光インタコネクション技術の将来を予測する」
久々津直哉(NTT通信エネルギー研究所)
3. 計算機システム屋からみた光技術への期待と課題
「計算機システム内部に光技術を用いるためには何が必要か」
工藤知宏(技術研究組合新情報処理開発機構)
4. WDMネットワーク技術と市場動向
「ペタビット/秒を目指す次世代ネットワーク技術と通信機器市場の将来動向を語る」
近間輝美(富士通研究所)
5. WDM用光デバイス技術と市場動向
「WDMネットワークを実現するキーデバイスと日本及び世界市場の将来動向を語る」
中原基博(NTTエレクトロニクス)

問合せおよび申込み：慶應義塾大学理工学部 津田裕之
電話 045-566-1627 E-mail: tsuda@elec.keio.ac.jp
研究会ホームページ <http://www.ieice.org/oip/jpn/welcome.html>

フォトリソグラフィック技術を中心として)

主 催：金属材料技術研究所第5研究グループ

日 時：2000年12月7日(木) 13:00~17:40,
8日(金) 9:00~15:40

場 所：金属材料技術研究所第1会議室(〒305-0047 つくば市千現 1-2-1)

講演予定者(順不同)：

大高一雄(千葉大), 国府田隆夫(日本女大), 宮崎博司(東北大), 迫田和彰(北大), 伊藤 正(阪大), 島田 周(東大), 沢田 勉(無機材研), 矢野 聡(理研), 三澤弘明(徳島大), 山中淳平(名古屋市大), 原口雅宣(徳島大), 松下祥子(東大), 益田秀樹(都立大), 雨宮克樹(金材研), 宮崎英樹(金材研), 不動寺浩(金材研), 長谷正司(金材研)

参加費：聴講無料。なお当日資料集(無料)を配布しますので、E-mailで事前に参加登録していただければ助かります。参加登録では、お名前, 所属, 住所, E-mailをお知らせください。

問合せ先：金属材料技術研究所第5研究グループ

長谷正司

電話 0298-59-2423 Fax 0298-59-2401

E-mail: mhase@nrim.go.jp

URL: <http://www.nrim.go.jp:8080/open/usr/mk/myweb/index.html>

第10回集積光学に関する欧州会議(10th European Conference on Integrated Optics: ECIO '01)論文募集

期 日：2001年4月4日~6日

場 所：Heinz Nixdorf Museums Forum(ドイツ, パデルボーン)

主 催：Univ. Paderborn, VDE, LEOS ほか

論文募集内容：集積光学に関する次のトピックス

1. Modelling, Numerical Simulation and Theory
2. Materials, Fabrication and Characterization
3. Passive Devices
4. Electro- and Acoustooptic Devices
5. Optical Amplifiers, Lasers and Photodetectors
6. Nonlinear Devices
7. Integration and Packaging
8. Applications

講演申込み方法：35語アブストラクト, 4頁サマリー3部, 投稿票, 著作権譲渡用紙を事務局へ送付

講演申込締切： 1月5日
 参加事前登録締切： 2月28日
 事務局： ECIO '01 Office (Univ. Paderborn, 33095
 Paderborn, Germany)
 詳細： <http://physikwww.uni-paderborn.de/ECIO>
 または大阪大学 栖原敏明
 電話 06-6879-7771 Fax 06-6879-7793
 E-mail: suhara@ele.eng.osaka-u.ac.jp

ご逝去
 0003004 小倉 磐夫
 応用物理学会理事, 応用物理学会評議員, 日本光学会幹事, 「光学ニュース」(「光学」の前身誌) 編集委員長
 〒192-0014 八王子市みついで台 2-39-1
 2000年10月6日 死去

日本光学会 *news* の掲載申込み先：
 〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9 旭光学工業(株)光学研究部第1研究室 米山修二
 電話 03-3960-4664 Fax 03-5392-2013 E-mail: syoneyama@aoc.pentax.co.jp
 なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成12年度幹事 (*常任幹事)

幹事長：	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長：	松本 弘一* (計量研)	
前幹事長：	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事：	佐藤 裕志* (コニカ)	大谷 幸利* (農工大)
	埜田 友也* (ニコン)	門野 博史* (埼玉大)
	石渡 裕* (オリンパス)	小野寺理文* (能開大)
	中野 隆志* (融合研)	米山 修二* (旭光学)
	伊藤 治彦* (東工大)	
『光学』編集幹事：	大坪 順次* (静岡大)	堀 裕和 (山梨大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事：	一岡 芳樹* (大阪大)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事：	芳野 俊彦 (群馬大)	高橋 信明 (防衛大)
将来問題担当幹事：	中楯 末三 (東京工芸大)	
企画・事業担当幹事：	亀丸 俊一 (北見工大)	坂田 肇 (キャノン)
	山田 秀則 (富士ゼロックス)	本宮 佳典 (東芝)
	高梨 健一 (リコー)	天野 主税 (NTT)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岡井 誠 (日立)
	森 峰生 (通信・放送機構)	羽根 一博 (東北大)
	大高 真人 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	藤原 巧 (豊田工大)	塩野 照弘 (松下電器)
	財部 健一 (岡山理科大)	森 邦彦 (鹿児島大)